

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に名刺を貼付していただくか、必要事項を記入し、FAXでお申込ください。

申込日	2016年	月	日
-----	-------	---	---

氏名	フリガナ (※必ずご記入ください)		
名刺貼付枠			
会社名	業種		
部署	役職		
住所 〒	-----		
TEL	FAX		
E-mail	※お申込みの登録確認、開催のご案内を差し上げますので、出来る限りご記入ください。		
記入者氏名 (ご参加者と同じ場合は不要)	支払い担当者		

お申込み方法

- 申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
- 複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。
- お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。
- 定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書と受講証をお送りいたします。参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は開催7日前までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。開催日6日前からのキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料 (お一人様/税込)

¥28,000

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからもお申込みいただけます

<http://www.b-forum.net/gg2016>

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL:03-3518-6531 受付時間 9:30～18:00 (土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

- *本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び弊社が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。
- *個人情報の第三者提供について: 当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。
 - [第三者に提供する目的] 本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などに情報提供するため。
 - [提供する個人情報の項目] 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目。
 - [提供の手段又は方法] 直接書面、または電子データにて提供いたします。
 - [当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性] 当該情報の提供を受ける者は、本イベント主催企業、後援企業、協賛企業など。
 - [個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨] 弊社と本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などとの間に個人情報の取扱いに関する契約はございません。
- *当個人情報の取扱いを委託することがあります。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
- *当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止(「開示等」といいます。)を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。
- *任意項目の情報のご提供がない場合、最適なお回答ができない場合があります。
- <個人情報苦情及び相談窓口> (株)ビジネス・フォーラム事務局 取締役 個人情報保護管理者 松田 / TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 土日祝日除く)

日時 2016年12月8日(木)
10:00～17:00 (受付 9:15～)

会場 ベルサール八重洲
東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F
[アクセス](#)
・「日本橋駅」A7出口直結 (東西線・銀座線・浅草線)
・「東京駅」八重洲北口 徒歩3分 (JR線・丸ノ内線)

参加規模 150名 (事前登録制)

参加対象 経営者 / 経営企画、事業企画、国際事業、財務、経理、グローバル人事などをご担当の役員・管理職の方々

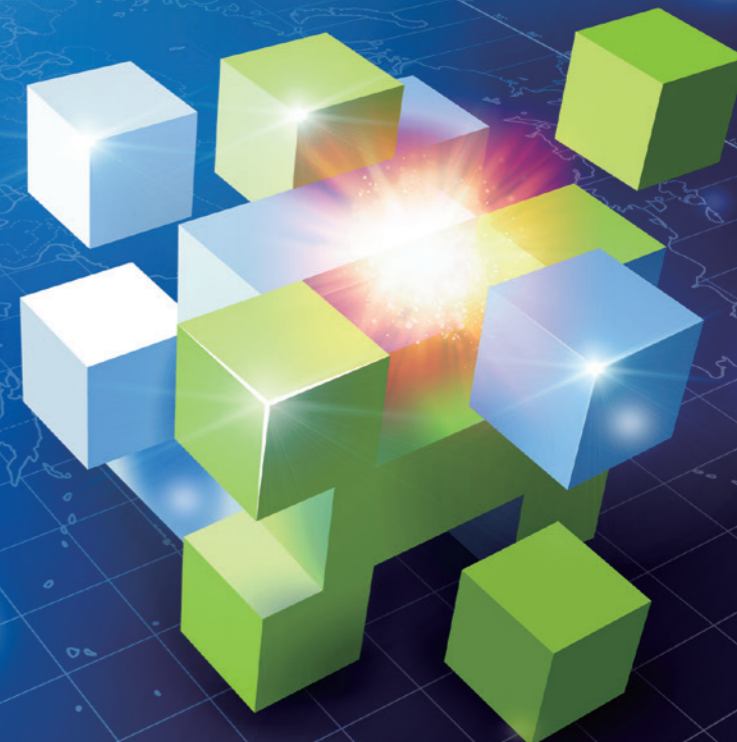
開催趣旨

国内市場の成熟化・グローバル競争の激化・M&Aによる合併・統合などに伴い、企業はグループ内での迅速な経営判断、意思決定を行える環境の整備を強化しています。グローバル/グループ経営の重要性が叫ばれている昨今、企業は親会社単体での業績を重視する経営から、海外子会社を含む企業グループ全体としての価値を高める経営に移行しており、最終的にいかにしてグループとしての価値を向上させていくか、グループ各所においてスピード感のある意思決定を行い、連携を高めていくかなどが求められています。

しかしながら本社主導で事業を管轄する企業の多くは日本国内でのグループ企業は統制できているものの海外については把握しきれていない現状にあり、またグローバルに地域統括会社を置く企業は事業と機能による複数の指示命令システムを調整していくことの難しさから思い描いたような運営を行えていない状況下にあるのも事実です。そのためより効果的なグローバル/グループ経営を実行していくには経営意思決定を本社と現地拠点の間でどのように行うのが良いのか、それぞれが持つべき権限や機能等をどう整理し最適化を図っていくかなどが重要となってくるのではないのでしょうか。

今回のグローバル/グループ経営フォーラム2016では「スピード経営の実現～グループ経営体制の構築とグローバルマネジメントの強化」をメインテーマに、「グローバル/グループR&D体制の強化」「グローバル本社と経営管理体制の強化」「トレジャリー・リスク・マネジメント」「本社業務改革とグループの成長」「グループ経営マネジメントと財務管理部門の役割」「マトリクス経営を支える人財の育成」など企業事例を中心に考察してまいります。そのなかで企業がグローバルレベルでスピード感のあるグループ経営体制を構築し、その連携から企業価値を高めていくために必要なポイントについて検証してまいります。


主催：株式会社ビジネス・フォーラム事務局
特別協賛：アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社 協賛：Reval Japan株式会社



10:00-10:10 オープニング

アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社 マネージングパートナー・日本代表 原田 裕介 氏

プロフィール 東京工業大学大学院総合理工学研究科、マサチューセッツ工科大学(MIT)スローン経営大学院及び同(MIT)技術政策大学院修了。情報電子機器メーカーにて研究開発・業務改革・事業管理・技術戦略を経験後、アーサー・D・リトル社に参画。以来、情報電子、自動車、産業機器、化学・素材、機能部品メーカーを中心に、コーポレートビジョンの立案、事業戦略の策定、組織改革の支援、研究開発戦略の構築に携わる。著書に「キャリア競争力(共著:東洋経済)」、「イノベーションプレミアム(共訳:東洋経済)」、「スローンコンセプト:組織で闘う(監訳:英治出版)」等。その他執筆、講演等多数。




10:10-10:55 基調講演 【グローバル/グループR&D体制の構築】

グローバルR&Dマネジメントを契機とした経営モデル変革

- R&Dの役割とマネジメント視点の転換
- 6つの要素で目指す姿を具体化
- 新たな「系」へのトランスフォーメーションを推進

アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社 パートナー 大原 聡 氏

プロフィール 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。米国シカゴ大学経営大学院(Booth School of Business)にてMBAを取得。20年以上のコンサルティング経験を持つ。ADLに勤務する以前は、グローバル戦略コンサルティングファームのパートナー職を務め、日系コンサルティング企業の戦略プラクティスの設立と運営に参画。加えて、投資銀行業務やベンチャー経営の経験も有す。ヘルスケア、化学・金属、自動車・機械、通信・IT、消費財・小売、商社、金融などの業界の顧客に対し、ビジョン・中長期戦略、新規事業開発、M&A・提携、マーケティング戦略、事業・R&Dポートフォリオ管理、顧客管理、組織・オペレーション・システム改革、企業再生などの案件を担当。計画策定に加えて、管理体制の構築を含む実行面まで支援。近年は、デジタル技術活用やイノベーション創出のテーマも手掛ける。



講演内容のポイント

市場の多極化が進み、グローバル管理のスケープを販売・マーケティングや製造から研究開発まで拡大させる機を迎えつつあります。各地域は「アウトプット先」ではなく、「インプット元」としての機能を果たし、「ローカライズ」に加えてグループ全体の「イノベーション」への貢献が求められていきます。マネジメントについても、集権と分権を両立する「ガバナンス」を超えて、「オープン化」や「コラボレーション」まで視点を広げなければなりません。実現には、ビジョン・戦略、組織構造、業務プロセス、人材能力、制度・システム、行動様式の再設計が必要になりますが、その具体的な要件や進化推進の要諦について考察を行います。

10:55-11:55 特別講演1 【グローバル経営体制の強化と意識・風土改革】

「住友理工におけるグローバル・マネジメント」
~Global Excellent Manufacturing Companyへ向けた意識・風土改革を含めた変革

- グローバル メガサプライヤーを目指して
- グローバル経営体制の構築
- 意識改革 風土改革

住友理工株式会社 代表取締役 取締役会長 兼 CEO 西村 義明 氏

プロフィール 1972年住友電気工業株式会社入社。経理部長、取締役人事部長、常務取締役、専務取締役を経て2008年住友理工株式会社、代表取締役副社長。2009年代表取締役社長。2015年6月より、代表取締役会長兼CEO、企業会計審議会委員、公益財団法人財務会計基準機構評議員。



講演内容のポイント

当社は自動車部品メーカーとして日系自動車メーカーに追随する形で各国にて事業展開を推進するとともに、非日系メーカーにも拡販を進めてきた。一方、近年、自動車メーカーの動きはグローバルでの部品共通化などに向かい、部品メーカーとしても、グローバル対応を求められるようになってきている。当社はこのような状況下、世界の競合に対して、伍して戦える「グローバルメガサプライヤー」になることを目指し、グローバル供給体制の構築など、グローバルでの経営体制の構築をするとともに従業員の意識改革や風土改革にも取り組んでいる。

11:55-13:05 昼食 ※ 会場内でお弁当をお配りいたします。


13:05-13:35 協賛セッション 【トレジャリー・リスク・マネジメント】

経営陣に対するM&Aの戦略アドバイザーとして、財務部門が機能する為のトレジャリー・リスク・マネジメントシステムについて

M&Aで企業がグローバル化を加速して行く中で、買収によるインパクトの理解、正確でタイムリーな資金管理、リスク・コンプライアンス管理をどのようにすべきなのか。本セミナーでは、クラウド型トレジャリー・マネジメントシステムによって、どのように企業がグローバル化を成し遂げ、流動性および財務リスク管理導入を実現する事ができるのかをご紹介します。

Reval マネージングディレクター アジアパシフィック/ジャパン トニー・シングルトン 氏

プロフィール 2007年にAPACリージョンでのRevalの経験をスタート。マネージングディレクターとして、オーストラリア、ニュージーランド、アジアおよび日本を担当。アジア・パシフィックでの事業開発経験、15年以上のカントリー/ジェネラルマネージャー経験、クレジット、バンク・ストラスト等の金融業界における13年の経験を有する。トレジャリー業界のトレンド、トレジャリーテクノロジーの進化についてAPACの主要な地域で、ファイナンスに関するコンサルティング業務を行っており、金融およびファイナンスでの経営学の学位を持つ。



講演内容のポイント

650社以上のお客様へのRevalクラウド型トレジャリー・マネジメント(資金管理)ソリューションの導入経験により、本セミナーではキーとなる見識、学んで来た事、そしてお客様がトレジャリー・トランスフォーメーションの過程で経験した成功事例をご紹介します。


13:35-14:35 特別講演2 【本社業務改革とグループの成長】

IHIにおける「グループ本社業務改革」について
~グループ全体の成長の実現のために~

- 企業自身が変わろうとしている中で、企業の背骨であるべき本社部門も姿を変えるべき
- これまでの延長線ではなく、思い切った「機能の整理」が必要
- 改革の目標は、「業務の集約化・効率化」、「業務の標準化による業務品質の向上」、「人的余力の創出と活用」

株式会社IHI 代表取締役副社長 坂本 譲二 氏

プロフィール 1976年3月早稲田大学法学部卒業。同年4月石川播磨重工業株式会社(現在の株式会社IHI)入社。総務部門・法務部門に所属。2002年7月総務部長、2005年7月広報室長、2007年4月コンプライアンス統括室長(兼)契約法務部長、2008年4月執行役員、2009年6月取締役を経て、2016年4月より代表取締役副社長。



講演内容のポイント

現在、IHIでは、経営の最優先課題である、「収益基盤の強化」を実現するために、これまでと全く日常業務の対応に多くの時間が使われがちであった「本社部門」についても、この際思い切った機能の整理が必要であるという考えに立ち、グループの本社部門全体の業務改革に取り組んでいる。具体的には、管理・サービスの定例業務については、グループ内の「共通のプラットフォーム」にシフトさせ、徹底的に標準化・効率化を図ることにより、それにより生じた「人的余力相当」を、「戦略機能」の強化のために再配置するなどして、グループ全体の中長期的な成長に資するという活動である。

14:35-14:55 コーヒー・ブレイク


14:55-15:55 事例講演1 【グループ経営マネジメントと財務管理部門の役割】

グローバル企業、ネスレグループの経営マネジメント
~グループ経営管理体制と財務管理部門の役割~

- ネスレグループおよびネスレ日本の概要
- ネスレのグローバルマネジメントスタイル
- ネスレグループ財務管理部門の役割と人材育成

ネスレ日本株式会社 執行役員 財務管理本部営業管理部長 中岡 誠 氏

プロフィール 1985年3月 神戸大学経営学部卒。同年4月 ネスレ日本(株)入社 東京支店横浜営業所藤沢出張所で営業担当。1989年9月から財務本部に所属し、工場での原価計算、内部監査、ネスレコンフェクショナル(株)でのコントローラー・管理部長、ネスレ日本(株)売掛管理部長、ビジネスプランニング&レポート部長等を経て2016年10月から現職。



講演内容のポイント

事業のグローバル化が加速を続ける昨今、グループ経営管理体制、中でも財務管理部門の役割・組織・機能は大きく変貌を遂げ、企業側にはこういった市場環境の変化に対応できる体制の構築、更には財務・経理人材を育てていくことが求められています。売上高世界最大の食品メーカーであるネスレグループの財務管理部門では、誰もが認める世界をリードする栄養・健康・ウェルネス、そして、財務パフォーマンスを発揮できる企業となるべく、財務面からのコントロールだけにとどまらない、社内各部門と連携してビジネスを牽引し、マーケットCEO/事業部長とともに事業を推進させていくことが重要であると考えており、このような取り組み事例についてご紹介します。


15:55-16:55 事例講演2 【マトリクス経営を支える人財の育成】

“おもしろおかしく”でグローバル化
~複雑化するマトリクス経営を支えるグローバル人財の育成

- 社は「おもしろおかしく」に根差したオーナーズマインドを持つ強い“個”の実現
- 将来のグローバル人財育成を見据えたゆるやかな母集団の形成
- M&Aによる急速なグローバル化と複雑化するマトリクス経営
- 濃密なFace to Face コミュニケーションを中心に、徹底した議論によるバランスの取れた意思決定とスピーディーな戦略実行

株式会社堀場製作所 管理本部 グローバル人事部 部長 松尾 孝治 氏

プロフィール 1989年大阪外国語大学フランス語学科卒業。同年ミノルタカメラ株式会社入社。1992年株式会社堀場製作所入社。海外営業部、企画開発部、経営管理部、基幹システム導入プロジェクト、中国上海駐在などをを経て2011年に法務部長。2015年1月より現職。中小企業診断士。



講演内容のポイント

1945年、学生ベンチャーの先駆けとして、堀場雅夫が創業した堀場製作所は、国産初のpHメーターを開発、自動車排ガス計測分野では世界トップシェアを持つ分析計測装置の総合メーカーである。早くから海外市場を志向し、現在では、世界27か国、海外44拠点を有するグローバル企業へ成長、連結での外国人従業員の割合が6割を超えている。M&Aを通じてグローバルに成長を果たした結果、現在においては事業セグメント x 地域、さらに機能を加えた複雑なマトリクス経営を実行している。有望な人財にはグローバルミーティングの機会などを通じて、戦略策定や事業運営など様々な具体的な実践の中で、グローバル人財への成長を促している。マトリクス経営において最も重視していることは、縦横斜めから飛び交う指示に対して、関係者が徹底的に議論し、濃密なFace to Face のコミュニケーションを通じて、バランスの取れた意思決定とスピーディーな戦略実行を実践することである。